

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 4年 3月 31日

事業所名 **さんーデイ** 保護者等数(児童数) **19** 回収数 **18** 割合 **95 %**

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	6			子どもの成長につれてスペースが狭く感じる	備品の配置等を見直し、スペースの確保に努める
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2			2 スタッフの持っている資格などについて情報があるとよい	事業所通信により発信していくか検討する
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2		5		玄関にスロープを設置できる
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18					アセスメント、モニタリングをしっかりと行いニーズや課題に沿った支援計画作成に努める
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	18					固定化されないよう職員間で相談し工夫している
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	12	コロナ禍のため、仕方ない	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					丁寧な説明を心掛け、質問を受けた際は都度対応している
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18				連絡帳などに詳しく記入してあり、ありがたい	継続して共通理解を深めていきたい
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18					相談を受けた際、適宜助言や面談を行っている
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	1	5	コロナ前はいろいろあったが、今は仕方ない	コロナ禍の状況も考慮し、開催する際はしっかり対策を行う
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2		1		迅速かつ適切に対応できるよう徹底する
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					引続き特性に配慮した対応を心掛けていきたい
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17		1			定期的に事業所通信を発行し、活動内容や連絡事項を発信している
	14 個人情報に十分注意しているか	18					個人情報の管理は細心の注意を払い取り扱っている
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1		2		職員間では周知されているが、保護者への周知に努める
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		5		訓練実施予定・結果等を通信等で保護者に周知する
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18				行きたいといつも言っている	引き続き楽しく過ごしていただけるよう支援していく
	18 事業所の支援に満足しているか	18				預かっただけありがたい	満足していただけるよう専門性の向上に努めたい

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。